

# 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	ガッコウホジシ ヌクテイ ガク								
フリガナ大学の名称	トキョウシクカイガク ガクイン 東京慈恵会医科大学大学院 (The Jikei University Graduate School of Medicine)								
大学本部の位置	東京都港区西新橋3丁目25番8号								
大学の目的	建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」に基づく研究、教育、医療を推進できる高度な能力を涵養し、医学・看護学研究の振興、医療の実践を通して人類の健康と福祉の向上に貢献することが本学大学院の使命である。								
新設学部等の目的	本学大学院医学研究科には、医学系専攻博士課程と看護学専攻前期および後期博士課程を設置している。今回新設する医科学専攻には修士課程を置き、高度の専門的職業人の養成を目的とし、遺伝医療における幅広い最新の知識に加えて、豊かな人間性、チーム医療に必要なコミュニケーション能力、国際的視野を兼ね備えた、高い実践能力を有する遺伝カウンセラーを育成するコースとする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	医学研究科 医科学専攻修士課程 [Graduate School of Medicine, Master's Program] 計	2 2	2 2	— —	4 4	修士 (医科学) [Master of Medical Science]	令和6年4月 第1年次	東京都港区西新橋3丁目25番8号	
【基礎となる学部等】 医学研究科医学系専攻博士課程 14条特例の実施									
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		該当なし							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	医学研究科 医科学専攻修士課程	講義	演習	実験・実習	計	33単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	医学研究科医科学専攻修士課程	10 (10)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	2 (2)
		計	10 (10)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	— (—)
	既設	医学研究科医学系専攻 (博士課程)	141 (141)	93 (93)	155 (155)	0 (0)	389 (389)	0 (0)	0 (0)
		医学研究科看護学専攻 (博士前期課程)	13 (13)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	56 (56)
		医学研究科看護学専攻 (博士後期課程)	13 (13)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	2 (2)
		計	167 (167)	103 (103)	155 (155)	0 (0)	425 (425)	0 (0)	— (—)
	合計		177 (177)	106 (106)	156 (156)	0 (0)	439 (439)	0 (0)	— (—)
	教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計	
		事務職員	74 (74)	人	24 (24)	人	98 (98)		人
技術職員		39 (39)	人	2 (2)	人	41 (41)		人	
図書館専門職員		10 (10)	人	0 (0)	人	10 (10)		人	
その他の職員		1 (1)	人	0 (0)	人	1 (1)		人	
計		124 (124)	人	26 (26)	人	150 (150)		人	
東京慈恵会医科大学職員のうち、大学部門の職員数を記載									

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	21,467㎡	— ㎡	— ㎡	21,467㎡	一部借地(都有地)				
	運 動 場 用 地	20,024㎡	— ㎡	— ㎡	20,024㎡	5,385.30㎡				
	小 計	41,491㎡	— ㎡	— ㎡	41,491㎡	50年				
	そ の 他	83,639㎡	— ㎡	— ㎡	83,639㎡					
	合 計	125,130㎡	— ㎡	— ㎡	125,130㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		89,442㎡ (89,442㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	89,442㎡ (89,442㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	20室	57室	11室	5室 (補助職員一人)	— 室 (補助職員一人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数					
		医学研究科医科学専攻修士課程			14 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学部単位で特定不能な ため、大学全体の数		
	医学研究科医科学専 攻修士課程	340,000 [120,000] (354,131 [134,335])	10,600 [8,500] (10,462 [8,345])	10,000 [8,400] (9,877 [8,276])	1,300 (1,226)	0 (100)	1,700 (1,700)			
	計	340,000 [120,000] (354,131 [134,335])	10,600 [8,500] (10,462 [8,345])	10,000 [8,400] (9,877 [8,276])	1,300 (1,226)	0 (100)	1,700 (1,700)			
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		4,616㎡	302席		340,000冊					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		4,280㎡	室内プール、弓道場							
経 費 積 立 方 法 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	医学研究科	
		教員1人当り研究費等	2,052千円	2,052千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	共同研究費等	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
	図 書 購 入 費	30,090千円	30,090千円	30,090千円	— 千円	— 千円	— 千円			
	設 備 購 入 費	4,671,944千円	4,671,944千円	4,671,944千円	— 千円	— 千円	— 千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		400千円	400千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		医療収入、私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入								
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称 東京慈恵会医科大学									
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 充足率	開設 年度	所 在 地	医学科1年次は国領校舎 2年次以降は西新橋校舎 医学科令和4年度入学 定員減△5人 (110人→105人)
	医学部	年	165	—	890	—	1.01	—	—	
	医学科	6	105	—	650	学士(医学)	1.01	昭和26年度	調布市国領町8-3-1 港区西新橋3-25-8	
	看護学科	4	60	—	240	学士(看護学)	1.00	平成4年度	調布市国領町8-3-1	
	医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	
	医学系専攻博士課程	4	66	—	264	博士(医学)	0.58	昭和31年度	港区西新橋3-25-8	
看護学専攻博士前期課程	2	10	—	20	修士(看護学)	1.00	平成21年度	港区西新橋3-25-8		
看護学専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士(看護学)	0.78	平成31年度	港区西新橋3-25-8		
附属施設の概要		<p>名 称：東京慈恵会医科大学附属病院 目 的：診療事業 所 在 地：東京都港区西新橋3-19-18 設置年月：大正11年2月 規 模 等：土地 39,145㎡ 建物150,792㎡</p> <p>名 称：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 目 的：診療事業 所 在 地：東京都葛飾区青戸6-41-2 設置年月：昭和19年4月 規 模 等：土地 12,990㎡ 建物 29,358㎡</p> <p>名 称：東京慈恵会医科大学附属第三病院 目 的：診療事業 所 在 地：東京都狛江市和泉本町4-11-1 設置年月：昭和25年7月 規 模 等：土地 39,858㎡ 建物 34,498㎡</p> <p>名 称：東京慈恵会医科大学附属柏病院 目 的：診療事業 所 在 地：千葉県柏市柏下163-1 設置年月：昭和62年1月 規 模 等：土地 34,215㎡ 建物 51,543㎡</p>								

教育課程等の概要															
(医学研究科医科学専攻修士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	保健医療概論	1後	2			○			2						兼1 オムニバス 共同 オムニバス ※演習・実験 兼1 ※演習
	ヒトの解剖・生理学	1前	1			○			1		1				
	医療倫理	1後	2			○			2		1				
	遺伝子操作研究法	1前		1		○	※	※	1						
	医療統計学	1後		2		○	※								
小計（5科目）		—	5	3				—	6		2				
専門科目	基礎人類遺伝学	1前	1			○			1						オムニバス 共同 オムニバス※演習 オムニバス ※演習
	臨床遺伝学I	1後	1			○			7	1					
	臨床遺伝学II	2前		2			○		1		1				
	遺伝性腫瘍・がんゲノム医療	2前		1		○	※		2	3					
	ゲノムバイオインフォマティクス基礎	1通		1		○	※		3						
小計（5科目）		—	2	4				—	14	4	1				
リ遺伝カウンセリング系科目	遺伝カウンセリング概論	1前	2			○			1						共同 共同
	遺伝カウンセリング演習	1後	1				○		1		1				
	遺伝カウンセリング実践論	2前	1			○			2		1				
	小計（3科目）		—	4					—	4		2			
実習・特別研究科目	遺伝カウンセリング実習	2通	10					○	6	3	1				共同 ※講義・実習
	遺伝カウンセリング研究方法論	1後	2			※	○	※	1						
	課題研究	2通	5				○		10	3	1				
	小計（3科目）		—	17					—	17	6	2			
合計（16科目）		—	28	7				—	41	10	7				
学位又は称号	修士（医科学）		学位又は学科の分野			遺伝カウンセリング学									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
医科学専攻修士課程遺伝カウンセリング学の学生は、上記、必修科目28単位、選択科目から5単位以上取得し、33単位以上取得すること						1学年の学期区分			2期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			70分あるいは90分						

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医学研究科医学系専攻)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
共通 科目	医学教育学	通年	1			○			3	2					兼4
	医学研究法概論	通年	1			○			7						
	医の倫理	通年	1			○			6	1		1			
	大学院特別講義 大学院特別セミナー 大学院生研究発表会	通年	1			○			3						
	動物実験	通年		2		○					1	2			
	アイソトープ	通年		2		○				1					
	遺伝子操作研究法	通年		2		○			1		2	1			
	免疫学的研究法	通年		2		○			1		1	1			
	バイオインフォマティクス研究法	通年		2		○			4		3				
	形態学的研究法	通年		2		○			1	1	2				
	医療統計学	通年		2		○			1						
	疫学・臨床研究	通年		1		○			1		1				
	臨床試験方法論	通年		1		○			1	1	1				
	脳・神経科学研究法概論	通年		1		○			2		1	1			兼1
	英語論文執筆の実践的方法論	通年		1		○			1						
	データサイエンス概論	通年		1		○				3		1			
	がんゲノム医療 (がんプロe-learning)	通年		1		○			4						兼1
	小児・AYA・希少がん (がんプロe-learning)	通年		1		○			3	3		1			
	ライフステージがん (がんプロe-learning)	通年		1		○			1	1	1				
	認知症医療における多職種協働	通年		1		○			3	1	2	1			兼1
小計 (20科目)	—		4	23			—	43	14	15	9				
選択 科目	器 官 病 態 ・ 治 療 学	消化器内科学総論 (前期)	通年		2		○			3	1	1			
		消化器内科学総論 (後期)	通年		2		○				1	4			
		消化器内科学 演習	通年		2			○		1		1			
		消化器内科学 実習	通年		5				○		1	3			
		消化器外科学総論	通年		2		○			1	2	3			
		消化器外科学特論	通年		2		○			1	3	3			
		消化器外科学 演習 I	通年		1			○		1	2	3			
		消化器外科学 演習 II	通年		2			○		1	4	2			
		消化器外科学 演習 III	通年		2			○		1	2	3			
		消化器外科学 実習 I	通年		3				○	1	2	3			
		消化器外科学 実習 II	通年		2				○	1					
		肝胆膵外科学総論	通年		2		○			1		1			
		肝胆膵外科学特論	通年		2		○				2	1			
		肝胆膵外科学 演習 I	通年		1			○				1			
		肝胆膵外科学 演習 II	通年		3			○			2	2			
		肝胆膵外科学 実習 I	通年		3				○			1			
		肝胆膵外科学 実習 II	通年		2				○	1					
		循環器内科学 総論 (前期)	通年		2		○			4	2	4			
		循環器内科学 総論 (後期)	通年		2		○			4	2	4			

基礎となる 医学研究科医学系専攻博士課程

選択科目	器官病態・治療学	循環器内科学 演習 I	通年	1		○		3	2	7			
		循環器内科学 演習 II	通年	2		○		3	2	7			
		循環器内科学 演習 III	通年	2		○		3	1	2			
		循環器内科学 実習	通年	5			○	3	2	4			
		循環器外科学 総論 (前期)	通年	2		○		1					
		循環器外科学 特論 (後期)	通年	2		○					3		
		循環器外科学 演習 I	通年	2			○	1	1				
		循環器外科学 演習 II	通年	2			○	1		1			
		循環器外科学 演習 III	通年	2			○	2	1	1			
		循環器外科学 演習 IV	通年	1			○				2		
		循環器外科学 演習 V	通年	4			○			1	1		
		循環器外科学 実習	通年	5				○	1	1	1		
		血管外科学 総論 (前期)	通年	2		○		1	1	1			
		血管外科学 特論 (後期)	通年	2		○		1	1	1			
		血管外科学 演習 I	通年	2			○	1	1	1			
		血管外科学 演習 II	通年	2			○	1	1	1			
		血管外科学 実習	通年	5				○	1	1	1		
		循環生理学総論	通年	2		○		2			2		
		循環生理学特論	通年	2		○		1	1	2			
		循環生理学演習	通年	2			○	3	1	4			
		循環生理学実習	通年	5				○	3	1	4		
		腎臓内科学 総論 (前期)	通年	2		○		3	1	4			
		腎臓内科学 総論 (後期)	通年	2		○		3	1	4			
		腎臓内科学 演習 I	通年	2			○	3	1	4			
		腎臓内科学 演習 II	通年	2			○	3	1	4			
		腎臓内科学 実習	通年	5				○	3	1	4		
		呼吸器内科学 総論 (前期)	通年	2		○		3	1				
		呼吸器内科学 各論 (後期)	通年	2		○		1	1	1			
		呼吸器内科学 演習 I	通年	2			○	1	1	1			
		呼吸器内科学 演習 II	通年	2			○		1	2			
		呼吸器内科学 実習	通年	5				○		1	2		
		呼吸器外科学 総論 (前期)	通年	2		○		1	2				
		呼吸器外科学 特論 (後期)	通年	2		○		1	2				
		呼吸器外科学 演習 I	通年	1			○	1	2				
		呼吸器外科学 演習 II	通年	1			○	1	2				
		呼吸器外科学 演習 III	通年	1			○	1	2				
		呼吸器外科学 演習 IV	通年	1			○	1	2				
		呼吸器外科学 実習	通年	5				○	1	2			
		乳腺・内分泌外科学総論 (前期)	通年	2		○		1	3	3			
		乳腺・内分泌外科学特論 (後期)	通年	2		○		1	3	3			
		乳腺・内分泌外科学演習 I	通年	1			○	1	3	3			
		乳腺・内分泌外科学演習 II	通年	1			○	1	3	3			
		乳腺・内分泌外科学 実習	通年	5				○	1	3	3		
		糖尿病・内分泌内科学総論	通年	2		○		2					
		糖尿病・内分泌内科学特論	通年	2		○		2	1				
		糖尿病・内分泌内科学 演習 I	通年	1			○		1	2			
		糖尿病・内分泌内科学 演習 II	通年	1			○	1	1	1			
糖尿病・内分泌内科学 実習	通年	5				○	2	1	3				
代謝・栄養学総論 (前期)	通年	2		○		1							
代謝・栄養学特論 (後期)	通年	2		○		1	1	1					
代謝・栄養学演習 I	通年	2			○	1							
代謝・栄養学演習 II	通年	1			○	1	1	1					
代謝・栄養学演習 III	通年	3			○	2	1						
代謝・栄養学演習 IV	通年	1			○	1							
代謝・栄養学実習	通年	5				○	1	1					
膠原病内科学 総論 (前期)	通年	2		○		1							
膠原病内科学 特論 (後期)	通年	2		○		1							

基礎となる 医学研究科医学系専攻博士課程

選択科目	器官病態・治療学	膠原病内科学 演習 I	通年	2			○				1			
		膠原病内科学 演習 II	通年	2			○		1					
		膠原病内科学 実習	通年	5				○		1				
		臨床腫瘍学 総論 (前期)	通年	2		○			1	1	1			
		臨床腫瘍学 各論 (後期)	通年	2		○			3		1			
		臨床腫瘍学 演習 I	通年	1			○		2		4			
		臨床腫瘍学 演習 II	通年	1			○		4	2				
		臨床腫瘍学 実習	通年	5				○	5		3			
		総合内科学 総論 (前期)	通年	2		○			5	1				
		総合内科学 特論 (後期)	通年	2		○			5	1				
		総合内科学 演習	通年	2			○		5	1				
		総合内科学 実習	通年	5				○	5	1				
		泌尿・生殖器科学総論 (前期)	通年	1		○			1	1	1			
		泌尿・生殖器科学特論 (後期)	通年	1		○				1	1			
		泌尿・生殖器科学演習 I	通年	1			○		1	2				
		泌尿・生殖器科学演習 II	通年	1			○			1	1			
		泌尿・生殖器科学演習 III	通年	1			○			1				
		泌尿・生殖器科学実習	通年	5				○	2		1			
		放射線医学 総論 (前期)	通年	1		○			2					
		放射線医学 総論 (後期)	通年	1		○			2					
		放射線医学 演習1	通年	1			○		1	1				
		放射線医学 演習2	通年	1			○				2			
		放射線医学 演習3	通年	1			○			1				
		放射線医学 演習4	通年	1			○		1		1			
		放射線医学 演習5	通年	1			○		2					
		放射線医学 演習6	通年	1			○				2			
		放射線医学 演習7	通年	1			○		1		1			
		放射線医学 演習8	通年	1			○		2		1			
		放射線医学 演習9	通年	1			○		1		1			
		放射線医学 演習10	通年	1			○		1	1				
		放射線医学 演習11	通年	1			○				1			
		放射線医学 演習12	通年	1			○				1			
		放射線医学 演習13	通年	1			○				1			
		放射線医学 演習14	通年	1			○		1					
		放射線医学 演習15	通年	1			○		1		1			
		放射線医学 実習	通年	5				○	2		1			
		薬理学 総論 (前期)	通年	2		○			2	1	2			
		薬理学 特論 (後期)	通年	2		○			1	1	1			
		薬理学 演習	通年	2			○		1	1	1			
		薬理学 実習	通年	5				○	1	2	3			
		器官・組織発生学 総論	通年	2		○			1					
		器官・組織発生学 演習	通年	1			○		1	1	1			
		器官・組織発生学 実習	通年	5				○	1	1	1			
		高次元医用生体工学総論	通年	2		○				1				
		高次元医用生体工学特論	通年	2		○				1				
		高次元医用生体工学演習	通年	1			○			1				
		高次元医用生体工学実習	通年	5				○		1				
再生医学 総論 (前期)	通年	2		○			1							
再生医学 特論 (後期)	通年	2		○			1		1					
再生医学 演習	通年	2			○		1							
再生医学 実習	通年	5				○	1		1					
肝病態制御学 総論 (前期)	通年	2		○			1		2					
肝病態制御学 特論 (後期)	通年	2		○			1		2					
肝病態制御学 演習	通年	3			○		1		2					
肝病態制御学 実習	通年	5				○	1		1					
消化器内視鏡診断治療学総論 (前期)	通年	2		○			1		1					
消化器内視鏡診断治療学総論 (後期)	通年	2		○			1		1					

基礎となる 医学研究科医学系専攻博士課程

器官病態・治療学	消化器内視鏡診断治療学演習	通年	2			○		1	1	1			
	消化器内視鏡診断治療学実習	通年	5				○	1	2	2			
	悪性腫瘍学総論（前期）	通年	2			○		1					
	悪性腫瘍学各論（後期）	通年	2			○		1					
	悪性腫瘍学演習	通年	2				○	1					
	悪性腫瘍学実習	通年	5				○			1			
	分子腫瘍学 総論（通年）	通年	2			○		2					兼5
	分子腫瘍学 特論（通年）	通年	2			○		2					兼5
	分子腫瘍学 演習	通年	2				○	2					兼5
	分子腫瘍学 実習	通年	5				○	1					兼5
	包括がん医学 総論（通年）	通年	2			○							兼3
	包括がん医学 特論（通年）	通年	2			○							兼3
	包括がん医学 演習	通年	3				○						兼3
	包括がん医学 実習	通年	3				○						兼3
小計（171科目）	—		335			—		189	124	185			
選択科目	成育・運動機能病態・治療学	小児科学 総論（前期）	通年	2		○		1					
		小児科学 特論（後期）	通年	2		○		5	2	4			
		小児科学 演習Ⅰ	通年	2			○	4	3	4			
		小児科学 演習Ⅱ	通年	2			○	3	1	1			
		小児科学 実習	通年	5				○	2	1	1		
		産婦人科学総論（通年）	通年	2			○		4	2	2		
		産婦人科学特論（通年）	通年	2			○		4	2	1		
		産婦人科学演習Ⅰ	通年	2				○	3	2	2		
		産婦人科学演習Ⅱ	通年	3				○	4	1	2		
		産婦人科学実習	通年	5				○	4	2	2		
		整形外科 講義（通年）	通年	2			○		5	1	7		
		整形外科 演習Ⅰ	通年	3			○		2	1	6		
		整形外科 演習Ⅱ	通年	1				○	4	2	2		
		整形外科 実習	通年	5				○	2	1	4		
		形成外科学 総論	通年	2			○		1				
		形成外科学 各論	通年	2			○		1				
		形成外科学 演習Ⅰ	通年	3				○	3	2			
	形成外科学 演習Ⅱ	通年	3				○	2		2			
	形成外科学 実習	通年	5				○	1	1	2			
	リハビリテーション医学総論（前期）	通年	2			○		3	2	2			
	リハビリテーション医学特論（後期）	通年	2			○		3	2	2			
	リハビリテーション医学 演習Ⅰ	通年	1				○	3	2	2			
	リハビリテーション医学 演習Ⅱ	通年	1				○	3	2	2			
	リハビリテーション医学 実習	通年	5				○	3	2	2			
	救急医学総論（前期）	通年	2			○		2	1	2			
	救急医学総論（後期）	通年	2			○		1	1	1			
	救急医学演習Ⅰ	通年	2				○		1				
	救急医学実習	通年	5				○	1	1	1			
	筋生理学 総論（前期）	通年	2			○		1	1				
	筋生理学 特論（後期）	通年	2			○		1	1				
	筋生理学 演習	通年	2				○	1		1			
	筋生理学 実習	通年	5				○	1	2	1			
	臨床薬理学 総論（前期）	通年	2			○		3	1	1			
	臨床薬理学 特論（後期）	通年	2			○		2					
臨床薬理学 演習	通年	2				○	3	1	2				
臨床薬理学 実習Ⅰ	通年	5				○	3	1	2				
遺伝子治療研究 総論（前期）	通年	2			○		1						
遺伝子治療研究 特論（後期）	通年	2			○		1						
遺伝子治療研究 演習	通年	2				○			1				
遺伝子治療研究 実習	通年	5				○			1				
小計（40科目）	—		108			—		91	45	65			兼1 兼1 兼1

基礎となる 医学研究科医学系専攻博士課程

神経・感覚機能病態・治療学 選択科目	脳神経内科学 総論 (前期)	通年	2	○			2	2	2			
	脳神経内科学 特論 (後期)	通年	2	○			2	2	2			
	脳神経内科学 演習	通年	2		○		2	2	2			
	脳神経内科学 実習	通年	5			○	2	2	2			
	脳神経内科学 疾患各論	通年	1	○			4	6	3			
	脳神経外科学 総論 (前期)	通年	2	○			2	1	1			
	脳神経外科学 特論 (後期)	通年	2	○			2	1	1			
	脳神経外科学 演習 I	通年	4		○			1	2			
	脳神経外科学 演習 II	通年	2		○			2	3			
	脳神経外科学 実習	通年	5			○	2	2				
	耳鼻咽喉科学 総論 (前期)	通年	2	○			1		1			
	頭頸部外科学 総論 (前期)	通年	2	○			1		3			
	耳鼻咽喉科学 特論 (後期)	通年	2	○			2	1	1			
	頭頸部外科学 総論 (後期)	通年	2	○			1		1			
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習 I	通年	2		○		3					
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習 II	通年	1		○		1		2			
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習	通年	5			○	1		1			
	眼科学 総論 (前期)	通年	2	○			1					
	眼科学 総論 (後期)	通年	2	○			1					
	眼科学 特論 (後期)	通年	4	○			2	2				
	眼科学 演習 I	通年	2		○		4	2				
	眼科学 演習 II	通年	3		○						6	
	眼科学 実習	通年	5			○	4	2	6			
	皮膚科学 総論 (前期)	通年	2	○			3					
	皮膚科学 特論 (後期)	通年	2	○			2	1	3			
	皮膚科学 演習 I	通年	3		○		3		1			
	皮膚科学 演習 II	通年	3		○		3		1			
	皮膚科学 実習	通年	5			○	2	2	3			
	精神医学 総論 (通年)	通年	1	○			5	1	5			
	精神医学 特論 (通年)	通年	1	○			4	2	5			
	精神医学 演習 I	通年	2		○		4	2	5			
	精神医学 演習 II	通年	2		○		4	2	5			
	精神医学 実習	通年	5			○	4	2	5			
	細胞・統合神経科学 総論	通年	2	○			1					
	細胞・統合神経科学 特論	通年	2	○			1					
	細胞・統合神経科学演習 I	通年	2		○		1					
	細胞・統合神経科学演習 II	通年	2		○		1					
	細胞・統合神経科学 実習	通年	5			○	1					
	神経解剖学 総論 (前期)	通年	2	○			1					
	神経解剖学 特論 (後期)	通年	2	○			1					
	神経解剖学 演習	通年	2		○		1					
	神経解剖学 実習 (研究)	通年	5			○	1					
	緩和医療学 総論 I (前期)	通年	2	○					1			
	緩和医療学 総論 II (後期)	通年	2	○					1			
	緩和医療学 演習	通年	2		○				1			
	緩和医療学 実習	通年	5			○			1			
	分子行動科学 総論 I	通年	2	○			1					
	分子行動科学 総論 II	通年	2	○			1					
	分子行動科学 演習	通年	2		○		1					
	分子行動科学 実習	通年	5			○	1					
	口腔科学 講義 (通年)	通年	2	○			1		1			
	口腔科学 演習 I	通年	3		○		1		1			
	口腔科学 演習 II	通年	3		○		1		1			
	口腔科学 実習	通年	5			○	1		1			
	脳病態制御学 総論 (通年)	通年	2	○								兼6
	脳病態制御学 演習 (通年)	通年	2		○							兼6
	脳病態制御学 実習 (通年)	通年	2			○						兼6
小計 (57科目)	—		152		—		91	40	80			



基礎となる 医学研究科医学系専攻博士課程

選択科目	病態解析・生体防御学	麻醉科学総論（前期）	通年	2		○			4	2			
		麻醉科学特論（後期）	通年	2		○			3		1		
		麻醉科学演習Ⅰ	通年	2			○		1		4		
		麻醉科学演習Ⅱ	通年	1			○		1	2	1		
		麻醉科学実習	通年	5				○	2	2	4		
		生化学・病態医化学総論（前期）	通年	1		○			1		3		
		生化学・病態医化学特論（後期）	通年	1		○			1		3		
		生化学・病態医化学演習Ⅰ	通年	1			○		1		1		
		生化学・病態医化学演習Ⅱ	通年	1			○		1		1		
		生化学・病態医化学演習Ⅲ	通年	1			○		1				
		生化学・病態医化学演習Ⅳ	通年	1			○		1		1		
		生化学・病態医化学実習	通年	5				○	1		3		
		分子機能学総論	通年	2		○					2		
		生化学・分子生物学研究法	通年	2		○					2		
		生化学・分子機能学演習Ⅰ	通年	2			○		1		2		
		生化学・分子機能学演習Ⅱ	通年	1			○		1		2		
		生化学・分子機能学実習	通年	5				○	1		2		
		ウイルス学総論（前期）	通年	2		○			1				
		ウイルス学研究法（後期）	通年	2		○					1		
		ウイルス学演習Ⅰ	通年	1			○		1				
		ウイルス学演習Ⅱ	通年	1			○				1		
		ウイルス学実習	通年	5				○				1	
		細菌学総論（前期）	通年	2		○			1		2		
		細菌学特論（後期）	通年	2		○			1		2		
		細菌学演習	通年	2			○		1	1			
		細菌学実習	通年	5				○	1				
		熱帯医学・医動物学総論	通年	2		○			1				
		熱帯医学・医動物学研究法	通年	2		○			1				
		熱帯医学・医動物学演習Ⅰ	通年	2			○		1				
		熱帯医学・医動物学演習Ⅱ	通年	2			○		1				
		熱帯医学・医動物学実習	通年	5				○	1				
		感染症学特論（前期）	通年	2		○			2	2			
		化学療法学特論（後期）	通年	2		○			2	2			
		感染・化学療法学演習Ⅰ（通年）	通年	1			○		2	2			
		感染・化学療法学演習Ⅱ（前期）	通年	1			○		1	2	1		
		感染・化学療法学実習	通年	5				○	2	2			
		人体病理学・病理形態学総論（前期）	通年	2		○			3	2	2		
		人体病理学・病理形態学各論（後期）	通年	2		○			3	2	2		
		人体病理学・病理形態学演習Ⅰ	通年	2			○		3	2	2		
		人体病理学・病理形態学演習Ⅱ	通年	1			○		3	2	2		
		人体病理学・病理形態学実習	通年	5				○	3	2	2		
		法医学総論（前期）	通年	2		○			1		2		
		法医学特論（後期）	通年	2		○			1		2		
		法医学演習	通年	2			○		1		2		
		法医学実習	通年	5				○	1		2		
		分子診断学総論（前期）	通年	2		○			3	1	3		
		分子治療学総論（後期）	通年	2		○			3	1	3		
		分子診断・治療学 演習	通年	2			○		3	1	3		
		分子診断・治療学 実習	通年	5				○	3	1	3		
		臨床研究デザイン（前期）	通年	2		○			1				
		臨床研究解析（後期）	通年	2		○			1				
		臨床研究演習	通年	3			○		1				
		臨床研究実習	通年	5				○	1				
		医学概論（通年）	通年	1		○				3	1		
		臨床検査医学総論（通年）	通年	1		○				2			
		臨床検査医学各論（通年）	通年	1			○		3	3	2		
臨床検査医学 演習Ⅰ（感染症検査）	通年	1			○			1	1		兼1		
臨床検査医学 演習Ⅱ（遺伝子検査）	通年	1			○			1	3				
臨床検査医学演習	通年	1			○			1	1				
臨床検査医学実習	通年	5				○		3	1				
小計（60科目）	—			138		—		79	47	77			

基礎となる 医学研究科医学系専攻博士課程

選択科目	社会健康医学	環境保健医学総論（通年）	通年	4		○			1	1	2			
		環境保健医学特論（通年）	通年	4		○			1	1	2			
		環境保健医学 演習	通年	2			○		1	1	2			
		環境保健医学 実習	通年	5			○		1	1	2			
		健康科学総論（前期）	通年	1			○		2	1				
		健康科学各論（後期）	通年	1			○		2	1				
		健康科学 演習	通年	4				○	2	1				
		健康科学 実習	通年	5					2	1				
		臨床研究デザイン・基礎	通年	1			○		1		1	1		
		臨床研究デザイン・アドバンス	通年	1			○		1		1	1		
		プライマリ・ケア 研究セミナー	通年	1			○		1		1	1		
		医学的研究テキスト輪読会	通年	1				○	1		1	1		
		臨床研究 実習	通年	6				○	1		1	1		
		小計（13科目）	—		36			—	17	8	13	5		
合計（361科目）		—	4	792		—	510	278	435	14				
学位又は称号		博士（医学）		学位又は学科の分野				医学						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
課程に3年以上（標準4年間）在学して所定の単位を取得し、以下のすべてを修得していることを修了の条件とする。 1. 自立して研究活動を行い、論文を作成して発表する医学的力量 2. 医学研究者として必要な人間的力量 3. 医学の研究・教育・社会貢献に求められる多様な指導力、およびその基礎となる豊かな学識							1 学年の学期区分		2 期					
							1 学期の授業期間		15 週					
							1 時限の授業時間		90から120分					

授 業 科 目 の 概 要			
(医学研究科医科学専攻修士課程)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎 科目	必修  保健医療概論	<p>授業概要：医療、医療システム、医療保健に関わる職種、医療法、医療保険制度、チーム医療、患者の権利、自己決定権やそれに必要な学習理論、医療安全、健康、リハビリテーション、最新の個別化医療など保健医療の初歩的・基礎的な概要を俯瞰し理解する。医療系出身でないバックグラウンドの学生をターゲットにした講義である。受講学生は、講義を受けた後にひとつのテーマを選び最終回に発表を行う。教科書に従った講義に加え、現場の専門職からの特別講義あり。</p> <p>到達目標：遺伝カウンセラーという医療保健に関わる専門職として業務する際の、医療保健の基礎を理解できる。</p> <p>授業方法：講義形式。最終回には、事前に選択したテーマについて教科書等を中心にして発表資料を作成する。その発表に関して討論する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1_川目裕/11回) 内容：保健医療概論：オリエンテーション・講義の進め方、医療とは、医療システム（我が国と海外）、医療保険制度（我が国と海外）と介護保険制度、医療を支える専門職、リハビリテーション、ノーマライゼーション、ゲノム時代の健康管理、終末期医療、災害医療・救急医療、発表会</p> <p>(10_佐藤（木村）正美/3回) 内容：チーム医療、健康とは、発表会</p> <p>(15_石橋由朗/3回) 内容：インフォームドコンセントと患者の権利、自己決定支援と学習理論、発表会</p>	共同 オムニバス
基礎 科目	必修  ヒトの解剖・生理学	<p>授業概要：遺伝カウンセラーとして様々な疾患に対応するにあたり、その疾患の症状や病態を理解するために、ヒトの解剖的な形態や構造について、さらに生理学的な機能を系統的に学ぶ。医療系出身でないバックグラウンドの学生をターゲットにした講義である。さらに各系統における遺伝性疾患についても学ぶ。</p> <p>到達目標：ヒトの各機能を系統的に把握するとともに、各機能を担う臓器の名称、位置、形態を理解できる。</p> <p>授業方法：講義形式。</p>	共同
基礎 科目	必修  医療倫理	<p>授業概要：遺伝カウンセラーの実践目標には、倫理的・法的・社会的課題（Ethical-legal-social issues: ELSI）に対応できることが求められている。本講義では、ELSIを理解し、さらに個別の課題に対応するための、医療倫理の基礎を学ぶ。総論として生命倫理と哲学、各論として生殖補助医療、出生前診断、着床前診断、終末期医療と安楽死、移植医療、発症前診断、エンハンスメント、生殖細胞系列ゲノム編集などを学ぶ。講義内では、実際の課題事例を取り上げて、討論も行う。</p> <p>到達目標：医療倫理における様々な内容を理解し、その課題について考えることができる。</p> <p>授業方法：講義形式、提示された課題の提出。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1_川目裕/9回) 内容：オリエンテーション：総論、生命倫理の基本原則、基盤となる考え方、遺伝情報の取り扱いと関連の法、生殖補助医療、出生前診断と胎児の権利、着床前診断、エンハンスメント、小児の保因者診断と発症前診断、ジェンダーとセクシュアリティ、専門職の倫理綱領、ゲノム医療と倫理問題：総括</p> <p>(2_大橋十也/2回) 内容：ゲノム編集、臨床研究における倫理</p> <p>(14_竹内千仙/4回) 内容：インフォームドコンセントと患者の権利、終末期医療と安楽死、臨床倫理、発症前診断：遺伝性神経疾患発症前診断の現状と課題</p>	オムニバス

基礎科目	選択	遺伝子操作研究法	<p>授業概要：遺伝カウンセラーは、様々な遺伝学的検査や体細胞遺伝子の解析結果を解釈し、遺伝カウンセリングでわかりやすく情報提供を行う。これらの結果が生み出されるまでの遺伝子操作や解析技術のプロセスを実際の解析実験を行い学習する。</p> <p>到達目標：遺伝学的検査に用いられる解析技術を理解できる。</p> <p>授業方法：対面による講義・演習・実験。</p>	<p>講義：3時間 演習：4時間 実験：8時間</p>
基礎科目	選択	医療統計学	<p>授業概要：統計学の基礎、確率、確率変数、確率分布、推定、さらに2群の比較、3群以上の比較、分散分析、オッズ比、リスク比、交絡因子の概念など、実際の医療における題材を用いて講義を実施する。医療者として最低限、身につけておくべき医学統計学の講義。</p> <p>到達目標：遺伝カウンセラーとして様々な医療データや遺伝的リスクを解釈し、さらに自身の臨床研究のデータ解析の基礎とするために、医学統計学の基礎的概念や用語を理解できる。</p> <p>授業方法：対面講義、講義時間は演習を含んでいる。</p>	<p>講義：8時間 演習：7時間</p>
専門科目	必修	基礎人類遺伝学	<p>授業概要：遺伝カウンセリングにおける情報提供に必要な人類遺伝学の基礎的知識をヒトの遺伝学の側面から系統的に学ぶ。</p> <p>到達目標：人類遺伝学の概念、歴史、セントラルドグマなど遺伝学の基礎を理解し、遺伝医学の側面から、主要な分子遺伝学的技術、細胞遺伝学、メンデル遺伝学、多因子遺伝、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング、腫瘍遺伝学などをその代表的な疾患とともに理解できる。</p> <p>授業方法：講義形式。</p>	
専門科目	必修	臨床遺伝学I	<p>授業概要：ヒトの遺伝性疾患・先天異常の診断、治療・管理、遺伝カウンセリングを扱う臨床遺伝学について理解し、代表的な遺伝性疾患、すなわち周産期、小児（染色体異常、先天異常・奇形症候群）、成人（単一遺伝子病、多因子遺伝病）、循環器疾患、神経・筋疾患、家族性腫瘍などの分子機構、症状、管理までを学ぶ。さらに、遺伝医療における倫理的、法的課題も重点的に学び、遺伝形式に応じた再発率の推定についても学習する。</p> <p>到達目標：臨床遺伝学の全般を理解、習得する。基礎人類遺伝学とともに、認定遺伝カウンセラー認定試験の遺伝医学関連の問題の9割以上を解答できる能力を身に付ける。</p> <p>授業方法：講義形式、各項目の領域の専門家によるオムニバス講義。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1_川目裕/7回) 内容：ヒトゲノムと染色体（復習）、細胞遺伝学、ヒト分子遺伝学の研究手法、疾患遺伝子の同定、遺伝医療における倫理的、法的課題、遺伝学的検査、バリエーションの見方、意味付け</p> <p>(2_大橋十也/1回) 内容：遺伝生化学</p> <p>(5_佐村修/2回) 内容：単一遺伝子疾患、出生前診断と着床前診断</p> <p>(6_玉利真由美/1回) 内容：多因子疾患</p> <p>(7_小林博司/1回) 内容：遺伝子治療</p> <p>(8_本郷賢一/1回) 内容：遺伝性循環器疾患</p> <p>(9_花岡一成/1回) 内容：集団遺伝学</p> <p>(13_野木裕子/1回) 内容：腫瘍遺伝学</p>	オムニバス

<p>専門科目</p>	<p>選択</p>	<p>臨床遺伝学II</p>	<p>授業概要：比較的頻度の高い遺伝性疾患について、成書、文献、ウェブサイトにあたり、最新の情報をもとにfact sheetを作成する。さらに心理社会的側面に関する論文を検索し紹介しながら各疾患に特徴的な遺伝カウンセリングの課題を学ぶ。また、トンプソンのテキストの症例について輪読を行う。</p> <p>到達目標：頻度の高い遺伝性疾患の概要、分子機構、臨床症状、治療・管理、遺伝カウンセリングのポイントを理解できる。</p> <p>授業方法：演習形式、初回に、fact sheetでまとめる疾患を選定する（fact sheetの作成方法については、1年次の「遺伝カウンセリング演習」で履修）。講義当日までにfact sheetを作成する。授業では、学生によるfact sheetの発表、関連文献の紹介を行う。1回の授業で2つの疾患を取り上げる。また、トンプソン&amp;トンプソン遺伝医学に掲載されている「症例」について1疾患を輪読する。最終日には、fact sheetを作成した疾患の中から、ひとつの疾患を選び、ロールプレイを行う。</p>	<p>共同</p>
<p>専門科目</p>	<p>選択</p>	<p>遺伝性腫瘍・がんゲノム医療</p>	<p>近年、その発症メカニズムの解明と分子標的治療の進歩が続く癌について、浸透率の高い単一遺伝性の遺伝性腫瘍について、その分子メカニズム、種類、治療法、サーベイランス、遺伝カウンセリングについて、最新の治療の状況を学ぶ。さらに保険適用されたがん遺伝子パネル検査の概要と状況、体細胞でのバリエーション、分子標的治療薬、二次的所見、エキスパとパネル、遺伝カウンセリングについて学ぶ。さらに遺伝性腫瘍における小児、AYA世代での発症に関しての医学的、心理社会的課題やその援助法、社会資源等を学ぶ。後半には、学んだ知識をもとにロールプレイを実施して実践能力を高める。</p> <p>到達目標：頻度の高く、また医学的に重要な遺伝性腫瘍の概念とその管理、遺伝カウンセリングの基本について理解、また遺伝性腫瘍に特有な課題について理解できる。がんゲノム医療におけるがん遺伝子パネル検査の概要、二次的所見、遺伝カウンセリングについて理解し、遺伝カウンセラーとしてチーム医療の役割を理解し、実践できる。</p> <p>授業方法：講義形式、各項目の領域の専門家によるオムニバス講義。 (オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1_川目裕/8回) 内容：代表的な遺伝性腫瘍：総論、遺伝性腫瘍各論：Lynch症候群、がんゲノム医療：二次的所見、がんゲノム医療：二次的所見の遺伝カウンセリング、遺伝性腫瘍の多遺伝子パネル検査、遺伝性腫瘍：ロールプレイ① シナリオ作成、遺伝性腫瘍：ロールプレイ② ロールプレイ実践、がん遺伝子パネル検査：ロールプレイ③ シナリオ作成、がん遺伝子パネル検査：ロールプレイ④ ロールプレイ実践</p> <p>(3_吉田清嗣/1回) 内容：遺伝性腫瘍の基礎：癌発症の基礎</p> <p>(11_秋山政晴/2回) 内容：遺伝性腫瘍各論：小児期発症の遺伝性腫瘍（網膜芽細胞腫、Von Hippel-Lindau病、Li-Fraumeni症候群）、遺伝性腫瘍各論：小児期発症の遺伝性腫瘍の特有の課題</p> <p>(12_宇和川匡/1回) 内容：がんゲノム医療：がん遺伝子パネル検査</p> <p>(13_野木裕子/2回) 内容：遺伝性腫瘍各論：遺伝性乳癌卵巣癌症候群①、遺伝性腫瘍各論：遺伝性乳癌卵巣癌症候群②</p>	<p>オムニバス 講義：8時間 演習：7時間</p>

<p>専門科目</p>	<p>選択</p>	<p>ゲノムバイオインフォマティクス基礎</p>	<p>授業概要：遺伝子解析，ゲノム解析によって得られる一塩基バリエント，in/del，コピー数多型等の解釈のプロセスの理解をするための講義および演習。</p> <p>到達目標：遺伝カウンセラーとして必要な，遺伝子・ゲノム解析データを解釈するためのプロセスを理解する。また，バリエントの結果について検証できる基本的なスキルを身につける。</p> <p>授業方法：バリエントの概念，解釈に必要な種々のデータベース，またガイドラインなどの講義。実際のバリエントを提示し，その病的意義を解釈する演習。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(1_川目裕/4回) 内容：バリエントとは。バリエントのタイプと記載法、バリエント解釈①、バリエント解釈②</p> <p>(4_大石公彦/2回) 内容：次世代シーケンサーの仕組みと生み出されるバリエント、バリエント解釈の基本とACMG/AMPのガイドライン</p> <p>(6_玉利(西岡)真由美/2回) 内容：ゲノム情報のデータベース①、ゲノム情報のデータベース②</p>	<p>オムニバス</p> <p>講義：4時間 演習：4時間</p>
<p>遺伝カウンセリング系科目</p>	<p>必修</p>	<p>遺伝カウンセリング概論</p>	<p>授業概要：遺伝カウンセリングの基礎を学ぶ。歴史，概念，面接技術，家族歴の聴取と記載，遺伝医学的評価，患者への教育，リスク・コミュニケーション，文書作成，遺伝カウンセリングの研究等について，遺伝カウンセリングの発祥の地であるアメリカの教科書(A Guide to Genetic Counseling)を用いながら，その重要な5章について重点的に学修し，全体を俯瞰する。さらに我が国の遺伝医療の状況，遺伝カウンセリングの状況について理解する。</p> <p>到達目標：遺伝カウンセリングを理解し，遺伝カウンセリングの実践への準備ができる。</p> <p>授業方法：各章の指定された部分を指示するので，事前に全訳を行い，ポイントをまとめる。それをもとに輪読する。内容の理解ができた後，教員からの重要なポイントについて講義にてさらに理解を深める。</p>	
<p>遺伝カウンセリング系科目</p>	<p>必修</p>	<p>遺伝カウンセリング演習</p>	<p>授業概要：遺伝カウンセリングにおいて頻度の高い遺伝性疾患（常染色体顕性遺伝，常染色体潜性，X連鎖性，多因子疾患）を学び，“fact sheet”を作成する。それらの疾患に関してロールプレイを行いながら，遺伝カウンセリングの実践の準備を行う。また，遺伝外来や遺伝カウンセリング外来の外来陪席見学とそれらのカンファレンスの参加を通じて，様々な症例の遺伝カウンセリングの状況と学ぶ。陪席症例については，遺伝カウンセリング記録，カンファレンスにおけるの疾患説明等の作成発表を行い，臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーの指導を通じて，2年次の遺伝カウンセリング実習への準備を行う。</p> <p>到達目標：頻度の高い疾患を自身で調べることができ，自分で遺伝カウンセリング準備から終結までの計画を建てることができる。遺伝カウンセリングにおけるチーム医療を理解できる。</p> <p>授業方法：事前に提示された遺伝性疾患についてfact sheetを作成，それを発表する。症例陪席については，適宜，日程を提示する。</p>	<p>共同</p>
<p>遺伝カウンセリング系科目</p>	<p>必修</p>	<p>遺伝カウンセリング実践論</p>	<p>授業概要：遺伝カウンセリングの実践における基本的概念である情報提供，傾聴，共感的態度，非指示的カウンセリング，クライアントとの協働作業，遺伝カウンセリングにおけるカウンセリング理論を，ロールプレイ演習とともに学ぶ。遺伝カウンセリング発祥の北米の実践についても最新の現状も学ぶ。さらに臨床心理の専門家を招いての講義も予定。</p> <p>到達目標：遺伝カウンセリング実践に必要なアドバンススキルと国際的な視野を理解し，遺伝カウンセリングを実践することが出来る。</p> <p>授業方法：講義形式，ロールプレイ。各講義の前に予習をして臨むこと。</p>	<p>共同</p>

<p>実習・特別研究科目</p>	<p>必修</p>	<p>遺伝カウンセリング実習</p>	<p>授業概要：臨床遺伝専門医・指導医や認定遺伝カウンセラーの指導のもとに、東京慈恵会医科大学附属病院遺伝診療部において、遺伝医療の外来、遺伝カウンセリング外来に同席して実習をおこなう。能力に応じて、疾患説明用aidの作成、家系図の聴取や記載、説明の補助や記録、診療後のフォロー、電話フォローアップなどを実習する。実習中には、周産期領域、小児領域、成人領域、腫瘍領域の満遍ない症例に陪席する。</p> <p>担当症例については、遺伝カウンセリング記録を作成し、それをもとに指導医・認定遺伝カウンセラーと、指導教授のスーパーヴァイズを受ける。また、症例カンファレンスにて陪席した症例の発表を担当する。</p> <p>さらに、当院の小児科、産婦人科、腫瘍・血液内科において、各診療科に専門的な検査や外来診療について陪席を行い遺伝医療に関わるクライアントの実態を把握する。がん遺伝子パネル検査に関連して、定例のエキスパートパネル（ウェブ開催）に参加する。</p> <p>到達目標：遺伝カウンセリングの準備、セッションの目的やゴール、その後のフォローアップの全体像を理解し、家族歴聴取や説明書作成などを指導医・認定遺伝カウンセラーとともに実践できる。併せて心理社会的フォローアップの計画と実践ができる。</p> <p>授業方法：外来陪席・実習、カンファレンス参加、スーパービジョン。遺伝カウンセリング記録の作成。</p> <p>授業計画：担当教員の指示による。外来の陪席は、2年次の4月から本学附属病院の遺伝外来に、原則、月、火、水、木、金、土曜日に異なった領域の遺伝診療の各外来セッション1名ずつ同席する（資料4参照）。</p> <p>外来内容</p> <table border="1" data-bbox="582 952 1220 1153"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">AM</td> <td>遺伝診療外来（一般）</td> <td>遺伝診療外来（一般）</td> <td>産科周産期・NIPT</td> <td>HBOC乳腺外科</td> <td>遺伝診療外来（一般）</td> <td>HBOC泌尿器科</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>PKD腎疾患・内科</td> <td></td> <td></td> <td>耳鼻科</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PM</td> <td>産科周産期・NIPT</td> <td>遺伝診療外来（一般）</td> <td>産科周産期・NIPT</td> <td>婦人科</td> <td>遺伝診療外来（一般）</td> <td>産科周産期・NIPT</td> </tr> <tr> <td>婦人科・遺伝性腫瘍</td> <td></td> <td></td> <td>遺伝性腫瘍</td> <td>耳鼻科</td> <td>HBOC泌尿器科</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	土	AM	遺伝診療外来（一般）	遺伝診療外来（一般）	産科周産期・NIPT	HBOC乳腺外科	遺伝診療外来（一般）	HBOC泌尿器科			PKD腎疾患・内科			耳鼻科	PM	産科周産期・NIPT	遺伝診療外来（一般）	産科周産期・NIPT	婦人科	遺伝診療外来（一般）	産科周産期・NIPT	婦人科・遺伝性腫瘍			遺伝性腫瘍	耳鼻科	HBOC泌尿器科	<p>共同</p>
	月	火	水	木	金	土																															
AM	遺伝診療外来（一般）	遺伝診療外来（一般）	産科周産期・NIPT	HBOC乳腺外科	遺伝診療外来（一般）	HBOC泌尿器科																															
			PKD腎疾患・内科			耳鼻科																															
PM	産科周産期・NIPT	遺伝診療外来（一般）	産科周産期・NIPT	婦人科	遺伝診療外来（一般）	産科周産期・NIPT																															
	婦人科・遺伝性腫瘍			遺伝性腫瘍	耳鼻科	HBOC泌尿器科																															
<p>実習・特別研究科目</p>	<p>必修</p>	<p>遺伝カウンセリング研究方法論</p>	<p>授業概要：遺伝カウンセリングの実践の基盤となるエビデンスを生成するための遺伝カウンセリングに関する研究の歴史、状況、方法論を学び、あわせて、自らの課題研究のテーマについて担当教員と討論しながら探索し、実現可能な研究の計画を立案する。本講義の終わりには、研究テーマとその計画についてパワーポイントにまとめて発表会を実施する。その際、学生、研究指導教員も参加し、発表内容に関して討論を行い、2年次の課題研究の準備へと役立てる。</p> <p>本修士課程における課題研究は、原則として、遺伝医学や遺伝カウンセリングに関連するテーマに関して、システマティック・レビュー、あるいは調査研究を実施する。</p> <p>なお、授業計画の第9回から11回は、医学系専攻博士課程の共通カリキュラムの「大学院特別科目・セミナー」を受講する。本講義は、優れた医学研究者・指導者、臨床医師による最新の研究に関する講義であり、遺伝カウンセリング研究を実施するための姿勢や魅力を習得する。</p> <p>到達目標：専門職である遺伝カウンセラーとして、医学研究の枠組みとそのプロセスを理解し、遺伝カウンセリング研究の意義、動向、位置づけを理解して、研究を立案することができる。</p> <p>授業方法：講義、および研究計画立案、パワーポイントによる発表資料の作成と発表。</p>																																		

【大学院の研究指導科目】

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実習・特別研究科目	必修 課題研究	<p>授業概要：遺伝カウンセリングに関する修士の特定の研究課題を作成するため、研究指導教員の指導のもと計画を立て研究を推進する。1年次の遺伝カウンセリング研究方法論の学修をもとに、さらなる自身の研究を推進し、研究成果を論文としてまとめ、発表を行う。</p> <p>到達目標：特定の研究課題を完成させる。</p> <p>授業方法：個人面談、グループ討論、発表。指導の形態は、対面を原則とする。状況に応じてオンラインも併用することがある。代表教員（川目 裕）とは定期的な面談を行い、進捗状況をフィードバックする。なお、代表教員とは、本修士課程の遺伝カウンセリングコースを包括的に統括し学生の指導にあたる教員である。</p> <p>研究指導の内容：            (1_川目 裕)            研究テーマとして、大きく以下の2つを挙げる。            1) 先天異常症候群の自然歴の解明と遺伝カウンセリング。各先天異常症候群の医学的な疾患特性や心理社会的側面について実際の症例の陪席や文献等より明らかにして、その自然歴に応じた遺伝カウンセリングの在り方、内容を検討する。            2) 近年、全エクソーム解析などの網羅的なゲノム解析における遺伝カウンセリングについて明らかにする。            研究デザインは文献レビューを用いる。PRISMAなどによるシステムティックな文献レビューの方法論を用いて、量的、質的な論文を適切なキーワードを設定して収集し、批判的に論文結果を解説して、各論文で得られている結果を一覧化し主題分析によって解析を行い、特定の研究課題を作成する。将来、現場での遺伝カウンセリングの事例からの問いを探し、それを研究して実践する能力を修得する。</p> <p>(2_大橋十也)            先天代謝異常症の患者の日常生活、ADLをアンケート調査により明らかにするとともに、コロナ禍において、どのように治療継続が困難を来しているかも合わせて調査する。これは今後展開されるであろう在宅医療、オンライン診療に向けての基礎データとなる。またコロナに関する情報の入手元、コロナワクチンの接種割合、コロナ感染の有無とその場合の重症度も調査する。調査の方法は各患者団体を通じてのアンケート調査である。</p> <p>(3_吉田清嗣)            遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングの動向を解明する。研究デザインは文献レビューを用いる。PRISMなどによるシステムティックな文献レビューの方法論を用いて、量的、質的な論文を適切なキーワードを設定して収集し、批判的に論文結果を解説して、各論文で得られている結果を一覧化し主題分析によって解析を行い、特定の研究課題を作成する。将来、現場での遺伝カウンセリングの事例からの問いを探し、それを研究して実践する能力を修得する。</p> <p>(4_大石公彦)            先天性代謝異常症をはじめとする小児期に発症する遺伝性疾患が疑われる症例を対象とし、遺伝学的検査の施行、確定診断の家族への報告、フォローアップでの多職種チームにおける遺伝カウンセラーの役割について研究する。得られた結果を海外での実情などと比較し、今後の遺伝カウンセラーの医療における貢献のあり方を、学会発表や論文作成を通して提言することを目的とする。</p> <p>(5_佐村 修)            研究テーマとして、1) 周産期領域における遺伝カウンセリングに関する検討 特に、出生前遺伝学的検査を行う場合の、倫理社会的な問題点とその心理社会的影響を検討する。2) 周産期における出生前診断に関する遺伝カウンセリングの中で、クライアントカップルの出生前検査に対する夫々の意識の違いが、方針決定にどのような影響をあたえるか、アンケートや聞き取り調査をおこない、どのような意識の違いがどのような影響を与えるかを検討する。これらの研究を通して、将来の遺伝カウンセリングを担う人材となる基礎的な能力を習得する。</p>	



<p>実習・特別研究科目</p>	<p>必修</p>	<p>課題研究</p>	<p>(6_玉利真由美) 興味のある多因子疾患をテーマとし、その疾患に関連する遺伝バリエーションについて検討を行う。遺伝バリエーションの基本情報の収集 (NCBI, OMIM等) GWAS (GWASカタログ, PheWeb.jp)やeQTLデータベース, ENCODE等の探索を行う。さらに文献検索 (PubMed) も行い、研究対象となる遺伝バリエーションの絞り込みを行う。さらに生物学的影響についての機能解析実験を行う。培養細胞を用いたレポーター遺伝子アッセイや、細胞に対して刺激の有無による転写因子との結合の変化をElectrophoretic Mobility Shift Assay (EMSA) 等を用いて検討する。将来、遺伝カウンセリングの現場において、解決すべき課題を見出し、それを研究して科学的知見を得る能力を取得する。</p> <p>(7_小林博司) 研究テーマとして1) 遺伝子治療の最近の状況、および2) 社会実装が進みつつある遺伝子治療における遺伝カウンセリングのニーズの調査を、文献のシステムティックレビューやAIなども駆使して解析し、これから整備されるべきカウンセリングのあり方を探っていくと同時に、各施設で始まっている臨床現場での課題もフィードバックしていく。</p> <p>(8_本郷賢一) 研究テーマとして、1) 遺伝性不整脈につき、病態及び治療法について理解し、情報提供のニーズと心理社会的影響について検討を行い、適切な遺伝カウンセリング法について立案する。2) 遺伝性心筋疾患について、病態及び治療法を理解し、情報提供のニーズと心理社会的影響について検討を行い、適切な遺伝カウンセリング法について立案する。いずれも研究デザインとしては文献レビューを用いて、既存の報告の問題点を抽出し、より実臨床に即した遺伝カウンセリング法を考案することにより、将来現場での遺伝カウンセリング事例で応用可能となる能力を修得をする。</p> <p>(9_花岡一成) 研究テーマとして、1) 遺伝性腎疾患のなかで最も頻度の高い常染色体顕性多発性嚢胞腎の遺伝カウンセリングにおいてクライアントが求める情報提供のニーズについて、本学の実際の症例を対象に調査し、必要な情報の収集方法、効果的な提供の仕方を研究する。2) 遺伝性腎疾患の網羅的な解析の現状を文献的にレビューし、遺伝カウンセリングにおける問題点を検討する。</p> <p>(10_佐藤正美) 研究テーマは、1) 遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを受ける当事者や家族の心理的影響、2) 遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを受け、インフォームド・チョイスと適応を促進する支援に関する研究、である。 研究デザインは観察研究であり、研究課題および研究目的に沿って量的研究もしくは質的研究を用いる。将来、現場での遺伝カウンセリングの事例からの問いを探し、それを研究して実践する能力を修得する。</p> <p>(11_秋山政晴) 研究テーマとして、遺伝性腫瘍の自然歴の解明、それらの疾患の特性に応じたクライアントの遺伝カウンセリングにおける情報提供のニーズと心理社会的影響を検討する。適切なキーワードを設定して論文を収集し、批判的に論文を読解して研究課題を作成する。遺伝カウンセリングの事例からの問いを探し、それを研究して実践する能力を取得する。</p> <p>(12_宇和川匡) 本邦において保険収載されたがんゲノム医療においては、遺伝カウンセリングによるサポート体制は必須である。まずがんゲノム医療の総論について学習し、がんゲノム医療における遺伝カウンセリングの実践を演習を通して学ぶ。</p> <p>(13_野木裕子) 乳癌診療の標準とBRCAなど遺伝子に病的バリエーションある乳癌の特徴、診療のポイント、病的バリエーションを有する場合のサーベイランスを学び、説明、支援の方法を一緒に考えていく。</p> <p>(14_竹内千仙) 1) 成人期発症遺伝性疾患 (神経筋疾患、循環器疾患、結合織疾患等) の診断と、疾患特性に応じた遺伝カウンセリングのニーズについて研究を行う。特に、網羅的解析など診断技術の進歩による遺伝カウンセリングの問題点の抽出、治療法の進歩による遺伝カウンセリングのあり方の変遷、出生前診断や着床前診断におけるELSIなどについての研究を行う。2) 小児期発症の遺伝性疾患の自然歴の解明、移行期医療ならびに、成人後の医療で必要とされる遺伝カウンセリングのニーズを解析する。</p>
------------------	-----------	-------------	--

学校法人 慈恵大学

東京慈恵会医科大学大学院医学研究科医科学専攻修士課程設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学	編入学	収容	令和6年度	入学	編入学	収容	変更理由
	定員	定員	定員		定員	定員	定員	
東京慈恵会医科大学				東京慈恵会医科大学				
医学部				医学部				
医学科	105	-	630	医学科	105	-	630	
看護学科	60	-	240	看護学科	60	-	240	
	<u>165</u>	-	<u>870</u>		<u>165</u>	-	<u>870</u>	
東京慈恵会医科大学大学院				東京慈恵会医科大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
医学系専攻博士課程	66	-	264	医学系専攻博士課程	66	-	264	
				<b>医科学専攻修士課程</b>	<b>2</b>	-	<b>4</b>	専攻の設置 (認可申請)
看護学専攻博士前期課程	10	-	20	看護学専攻博士前期課程	10	-	20	
看護学専攻博士後期課程	3	-	9	看護学専攻博士後期課程	3	-	9	
	<u>79</u>		<u>293</u>		<u>81</u>		<u>297</u>	
慈恵第三看護専門学校				慈恵第三看護専門学校				
看護学科	50	-	150	看護学科	50	-	150	
	<u>50</u>	-	<u>150</u>		<u>50</u>	-	<u>150</u>	
慈恵柏看護専門学校				慈恵柏看護専門学校				
看護学科	80	-	240	看護学科	80	-	240	
	<u>80</u>	-	<u>240</u>		<u>80</u>	-	<u>240</u>	